

令和3年度「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」を開催しました（2021/11/10）

テーマ：防災教育、生涯学習、学校安全、地域安全、防災教育国際協働センター
場所：オンライン

2021年11月10日（水）、令和3年度「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」を、宮城県教育委員会と東北大学災害科学国際研究所防災教育国際協働センターの共同主催により、YouTubeによるリアルタイムオンライン配信にて開催いたしました。当研究所の多目的ホールをキーステーションとして、宮城県内の各教育事務所管内に設けられたサテライト会場をオンラインで結びました。

本フォーラムは7回目を迎え、地域・学校・研究機関等がそれぞれの役割や関わりを明確にし、安全教育の課題解決に向けた協議を通して、災害・交通・生活に係る安全教育の発展に資すると共に、国連防災世界会議のパブリックフォーラムで採択された仙台宣言の実現に向け、国際的な視野に立ち、震災後の取り組みについて広く国内外に発信するものです。宮城県内の学校安全・地域安全にかかわる担当教員499名が参加しました。

宮城県の伊東昭代教育長による開会の挨拶の後、今村文彦所長（津波工学研究分野）が「東日本大震災等の教訓を踏まえた今後あるべき学校防災の強化に向けて」と題する基調講演を行いました。パネルディスカッションでは「地域と連携した防災体制の構築に向けて」をテーマとし、宮城教育大学の野澤令照特任教授のもと、5名のパネリストによるディスカッションが展開されました。パネリストには柴山明寛准教授（災害文化アーカイブ研究分野）も有識者として参加しました。最後に、佐藤健教授（防災教育実践学分野）より、本フォーラムの意義とその成果についての講評、閉会の挨拶が行われました。

なお、フォーラムの内容は後日でも視聴できるようにYouTube動画として防災教育国際協働センターのHP上にアップしました。

https://www.youtube.com/channel/UCYM-_jzsgFJ9Ctr4IV1UbWw



今村所長による特別講演



キーステーションの様子



気仙沼サテライト会場の様子



パネルディスカッションの様子

文責：佐藤 健（防災教育実践学分野）、定池祐季（イオン防災環境都市創生共同研究部門、防災教育実践学分野・兼務）、今村文彦（津波工学研究分野）、柴山明寛（災害文化アーカイブ分野）